

持続可能な社会の実現に向けて

日阪製作所の存在意義は、「社会課題を解決できる『省エネ』『省人化』を実現する良質な『機械』や『サービス』を安定して供給できるメーカーであること」です。変化の激しい現代において、新たな顧客ニーズや社会課題に迅速に対応するために、当社は「環境」「安全安心」「快適・便利」をキーワードに、水素・アンモニア・CO₂回収などのカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みや人手不足を解消する製品・サービスの提供を加速させていきます。

環 境	安全安心	快適・便利
● 脱炭素社会の実現 ● 食品ロス低減	● 持続可能な事業活動への貢献 ● 食の安全安心への貢献	● 自動化・省人化への貢献 ● サービス（DX活用）

気候変動対策へ貢献する3つの主要事業

気候変動が進むなかで高まる社会全体のCO₂排出量削減要請や脱炭素へのニーズに対応するために、環境配慮型の新製品開発を積極的に行っています。

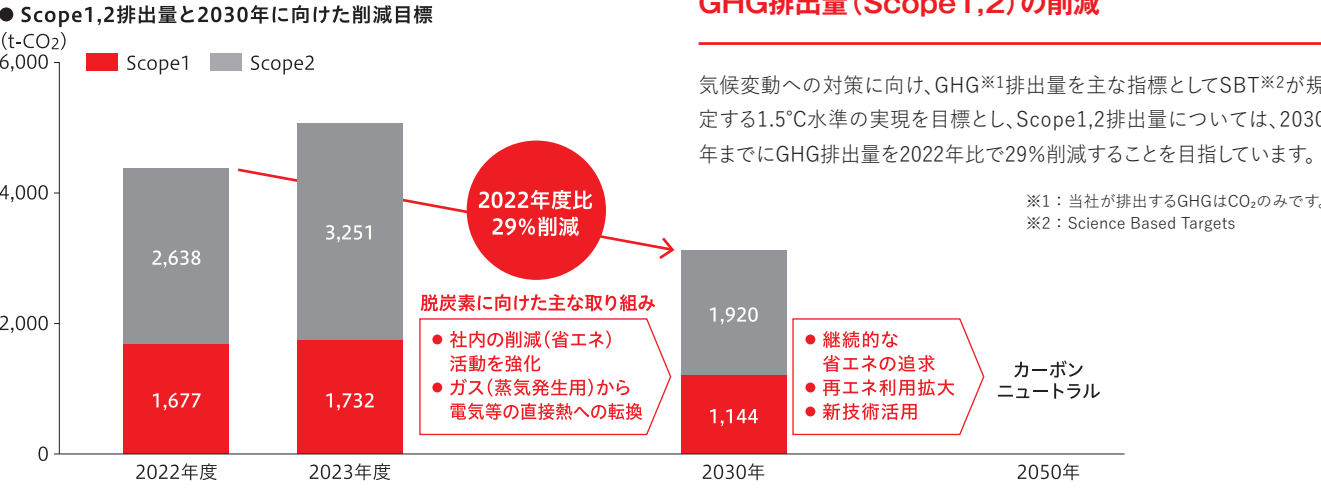
- 熱交換器事業：**プレート式熱交換器の適用範囲拡大に注力
- CO₂回収 ■未利用熱の活用 ■冷凍サイクルの高効率化
- プロセスエンジニアリング事業：**省エネ・省人化やフードロス削減に貢献
- 蒸気の再利用 ■環境負荷低減 ■レトルト食品の長寿命化
- バルブ事業：**新エネルギー分野の製造設備へ導入実績多数
- 水素製造設備 ■半導体製造設備 ■二次電池製造設備

太陽光発電設備の導入

再生可能エネルギーの活用を目指し、鴻池事業所・生駒事業所の屋上では太陽光発電設備が稼働しています。



省エネルギー推進によるGHG排出量 (Scope 1,2) の削減



CSR・SDGs ビジョン

社会課題の解決で持続可能な社会の実現に貢献できる企業を目指し、CSR推進としてSDGsの持続可能な開発目標を考慮した6つの将来の姿「CSR-SDGsビジョン」を掲げています。

- 1 日阪グループの保有技術を活用したソリューションの提供により、顧客の課題及び社会課題が解決できる
- 2 多様性(働き方、性別・国籍・障がい等を含む個性)を活かし、みんなが健康で活躍できる
- 3 災害対応力の強い会社になる
- 4 MOTTAINAI活動(Reduce・Reuse・Recycle)でCO₂排出量削減ができる
- 5 ガバナンス向上による成長と健全かつ適正な業務運営ができる
- 6 パートナーシップによる社会課題解決ソリューションの提供ができる

責任ある調達

取引先からの調達においても相互信頼・法令順守・人権尊重などの共通理解に基づく良好なパートナーシップによる持続的な成長に努めており、2022年4月に「パートナーシップ構築宣言」に賛同・公表しました。



熱交換器事業本部

世界中のすべてのお客様のために、高品質で信頼のおけるプレート式熱交換器をコア技術とした“熱ソリューション”を提供しています。

営業部

大 阪

TEL:06-6363-0020

東 京

TEL:03-5250-0760

名古屋

TEL:052-217-2491

北海道

TEL:011-868-8010

千 葉

TEL:0436-24-3322

尾 道

TEL:0848-21-2750

https://www.hisaka.co.jp/phe/





プロセスエンジニアリング事業本部

食品・医薬・染色の産業分野の生産現場を支える機器の製造・販売を通して、「衣食住医」皆さまの快適な暮らしの実現に貢献しています。

食品機器営業

奈良

東京

九州

北海道

TEL:0743-25-2901

TEL:03-5250-0780

TEL:092-432-8011

TEL:011-868-8012

https://www.hisaka.co.jp/food/

医薬機器営業

奈良

東京

TEL:0743-25-2901

TEL:03-5250-0780

https://www.hisaka.co.jp/pharmacy/

染色仕上機器営業



染色仕上機器営業	
奈 良	TEL:0743-25-2902
https://www.hisaka.co.jp/textile/	



バルブ事業本部

開発するすべての製品で「環境・安全性に優れたNo.1の性能と品質」を追求しながら、時代のニーズに合う新しい製品やサービスを提供しています。

営 業 部

大 阪 TEL:06-6363-0050

東 京 TEL:03-5250-0770

名 古 屋 TEL:052-217-2493

北 九 州 TEL:093-531-1151

さいたま TEL:048-650-8870

千 葉 TEL:0436-20-1660



<https://www.hisaka.co.jp/valve/>



いけ、技術に想いをのせて 株式会社 日阪製作所

■ 本 社	〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎 2-12-7	TEL:06-6363-0006	FAX:06-6363-0160
■ 鴻 池 事 業 所	〒578-0973 大阪府東大阪市東鴻池町 2-1-48	TEL:072-966-9600	FAX:072-966-9650
■ 生 駒 事 業 所	〒630-0101 奈良県生駒市高山町8916-10	TEL:0743-25-2900	FAX:0743-25-2910
■ 青 梅 事 業 所	〒198-0025 東京都青梅市末広町2-9-3	TEL:0428-31-6844	FAX:0428-31-6854
■ 東 京 支 店	〒104-0031 東京都中央区京橋 1-19-8	TEL:03-5250-0750	FAX:03-3562-2759
■ 名 古 屋 支 店	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 1-12-17	TEL:052-217-2491	FAX:052-217-2494
■ 九 州 支 店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-15-20	TEL:092-432-8011	FAX:092-432-8012
■ 北 九 州 支 店	〒802-0081 福岡県北九州市小倉北区紺屋町 9-1	TEL:093-531-1151	FAX:093-531-1152
■ 北 海 道 営 業 所	〒003-0003 北海道札幌市白石区東札幌三栄 6-1-20	TEL:011-868-8010	FAX:011-868-8011
■ さいたま営業所	〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-13-2	TEL:048-650-8870	FAX:048-650-8871
■ 千 葉 営 業 所	〒290-0081 千葉県市原市五井中央西 1-23-6	TEL:0436-20-1660	FAX:0436-20-1661
■ 尾 道 営 業 所	〒722-0037 広島県尾道市西御所町 14-15	TEL:0848-21-2750	FAX:0848-21-2751



本文書の無断転用・無断転載・無断複製・無断改変を禁止します。また、カタログに掲載の外観・仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

代理店

Eco - friendly Products

持続可能な社会の実現に向けた環境配慮型製品



いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

Eco - friendly Products

日阪製作所の環境配慮型製品

2030年のSDGsゴール、2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、独自の『流体の熱と圧力の制御技術』を活用したさまざまなソリューションの提供を今後も加速させていきます。



バルブ製品 バルブ事業本部

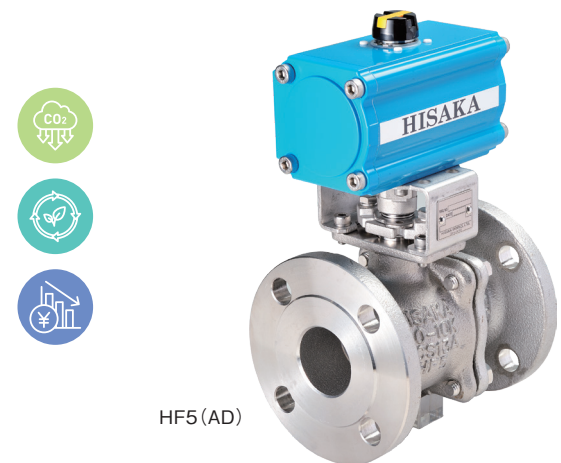


ソフトシートの採用で 駆動部をコンパクト化

最高使用温度300℃(1.0MPa時)まで使用可能なソフトシートタイプのボールバルブは、メタルやカーボンシートタイプと比較して駆動部が小さくできるため、省エネ・省資源化による大きなコストメリットがあります。

セミジャケット式 チョコレート用ボールバルブ

チョコレート製造ライン用に開発された軽量・コンパクトなセミジャケット式ボールバルブは、使用環境や使用条件をふまえた個別適正設計により、省エネ・省人・省スペース化に寄与しています。

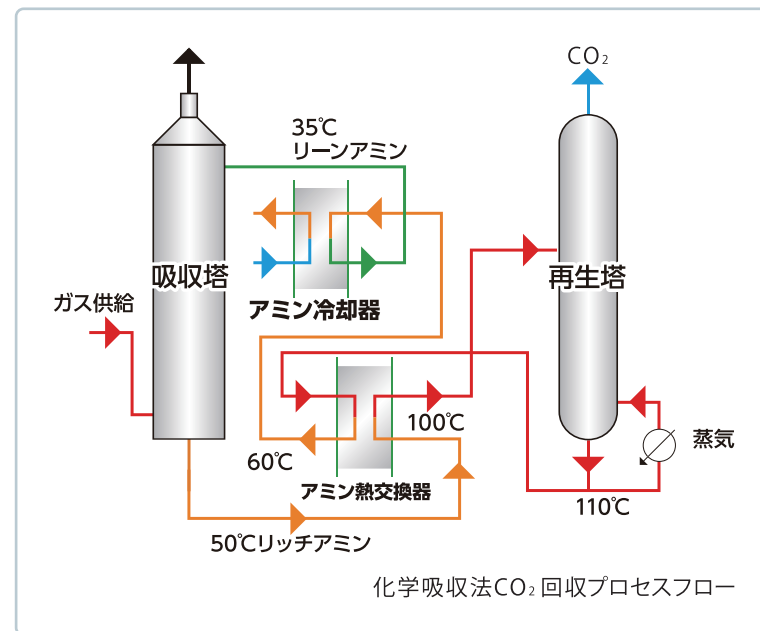


コンパクト型 アクチュエータを採用

オリジナルデザインのコンパクト型エア駆動アクチュエータは、ダブルスカッチヨーク式の採用とアルミ製駆動部で、軽量・コンパクト化を実現し、省エネ・省資源化に貢献しています。

熱交換器製品 熱交換器事業本部

CO₂回収プラント用プレート式熱交換器



ガス精製設備のアミン溶液の熱回収用に、高い熱回収率を可能にする伝熱プレートとアミン系溶剤に高い耐久性を持つガスケットの開発により、CO₂回収プロセスのエネルギー効率を高めています。

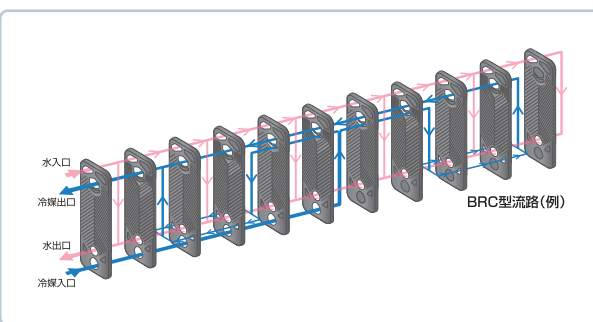
冷媒の蒸発性能を追求した 冷凍空調用熱交換器

重量 **45%** 軽量!
伝熱性能 **100%** アップ!
冷媒量 **30%** 削減!

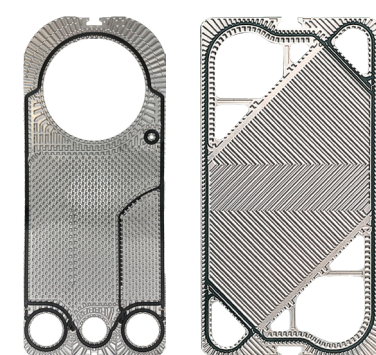
※いずれも当社比

凝縮用途で排熱を効率的に 回収して再利用するコンデンサー

これまでシェル&チューブタイプの熱交換器が採用されてきた高温高圧用途にも適用可能なプレート式熱交換器の開発で高効率な熱回収を実現し、蒸気使用量とCO₂排出量の削減を可能にしました。



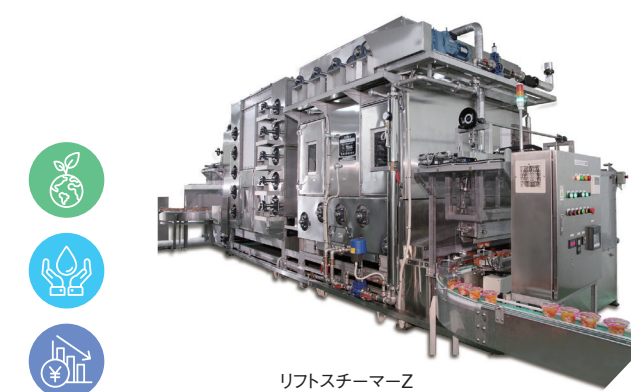
プレート式蒸発器の冷媒不均等分配の課題を改善し、伝熱性能アップと45%の軽量化を実現したことで、省資源化だけでなく地球温暖化の原因となるフロン充填量30%削減を達成しました。



凝縮専用プレート
DXC(左)、YX(右)

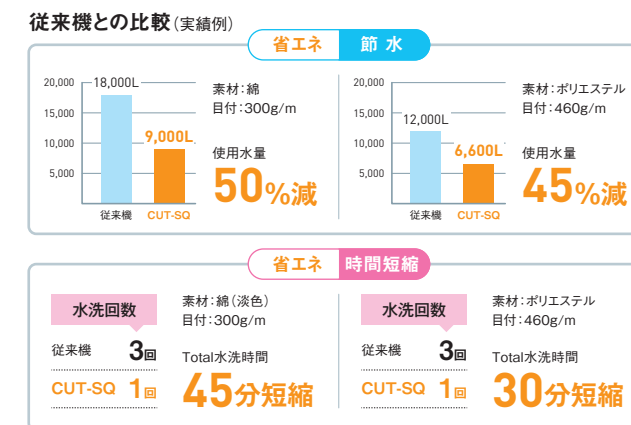
食品・医薬・染色機器製品 プロセスエンジニアリング事業本部

スチーミング式 全自動連続殺菌冷却装置



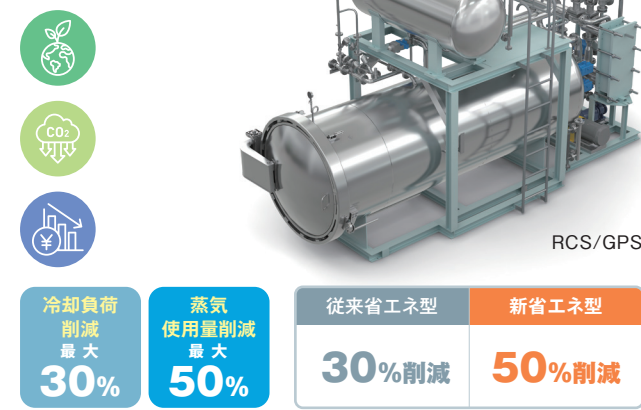
スチーム式で熱水が不要なため、蒸気と水の使用量を大幅に削減し、ボイル式と比較して30～50%の省エネルギー化が可能です。また、製品の投入から搬出までを全自動で行うため、省人化にも大きく貢献しています。

節水機構搭載の 液流染色機



節水機構の搭載で、水洗工程における使用水量と工程時間の大幅な削減を実現しました。生地を取り出し時にも節水機構を活用することで水の飛散を防止できます。

高温高圧調理殺菌/医薬滅菌装置 省エネ型 新オプション



食品・医薬用の高温高圧装置のオプションとして温水回収タンクを採用することで、蒸気使用量を最大50%も削減可能です。

自己蒸気圧縮式 (MVR) 濃縮装置による CO₂・ランニングコスト削減



2024年時点の実績例

CO ₂ 排出量 270t / 年ダウン	従来型	MVR
CO ₂ 排出量 [tCO ₂ / 年]	508	232
コスト 1,350万円 / 年ダウン	従来型	MVR
蒸気使用コスト [万円 / 年]	2,064	79
電力使用コスト [万円 / 年]	158	792
合計コスト	2,222	871

※4,000時間稼働/年、蒸気単価:6,000円/ton、電力単価:22円/kWh

従来型から自己蒸気圧縮式への変更で、蒸気使用量の大幅な削減に加え、CO₂の排出量も低減できます。